

愛を乞うひと

[1998年 東宝＝角川書店＝サンダンス・カンパニー]

[スタッフ]

原作	下田治美
脚本	鄭義信
監督	平山秀幸
撮影	柴崎幸三
照明	上田なりゆき
録音	宮本久幸
音楽	千住明
美術	中澤克巳

[出演者]

山岡照恵/陳(和知)豊子	原田美枝子
山岡深草	野波麻帆
陳文雄	中井貴一
王東谷	小日向文世
王はつ	熊谷真実
和知三郎	國村隼
和知武則	うじきつよし
5歳の照恵	小井沼愛
10歳の照恵	牛島ゆうき
15歳の照恵	浅川ちひろ
4歳の武則	前田弘
7歳の武則	塚田光
11歳の武則	五十嵐迅人

(カラー/ビスタ/ドルビーSR /135分)

70年代から多数の助監督経験を積んだ平山秀幸は、監督デビューした90年代に「学校の怪談」(1995-1999)シリーズの大ヒットをおさめ、本作で国内の映画賞を主演の原田美枝子とともに独占。その後も多様なジャンルで問題作を発表し続けている現代日本映画の代表的な監督である。実母から凄惨な虐待を受け続けて育った女性が、中年となり、幼い時に死に別れた父親の遺骨を探して娘と共に台湾へ向かう。母と父の過去を通して、母と自身に向き合っていく…。鄭義信の脚本、平山と多数の作品でコンビを組んでいる柴崎幸三の撮影、主人公と母を演じた原田美枝子の迫真の演技が、見る者に緊張感とともに深い痛みを伝え、ラストでは静かな感動をもたらす。「キネマ旬報」ベストテン第2位、モントリオール映画祭では国際批評家連盟賞を受賞。